

伊丹市 丹波市 猪名川町

阪神北部広域行政研究会 の取り組み vol.3

平成15年(2003年)3月15日

編集 / 阪神北部広域行政研究会
発行 / 猪名川町企画部企画政策課
兵庫県川辺郡猪名川町
上野字北畑11-1
TEL / 072-766-8711
FAX / 072-766-3732



最終研究会(平成15年2月9日)

研究会は終了し、引き続き広域行政を推進するため新たに「阪神北部広域行政推進協議会」を設置予定

平成15年度以降の広域行政の方針は、広域的連携の取組は、住民から高い期待を持たれており、3年間に一定の成果を生み出しました。一方短期的には事業化に至らなかった課題も数多くあります。また、今まで取り組んできた項目以外にも住民のニーズが高く、効果が見込まれるものがあると考えられます。

広域的連携については、将来に向けた住民福祉の一層の充実と、活力と魅力にあふれる地域づくりをめざして、今後とも継続していきます。住民のニーズが高く、効果が見込まれる事業を継続するとともに、中長期的な取組を必要とする課題や新たな課題についても検討していきます。

市町合併については、その効果に対する期待は大きいものの、3市1町の住民間で関心が十分高まっておらず、不安のある人も多いことから、早急に合併に向かうのではなく、引き続きこの圏域のあり方について住民とともに考えるべきであると判断いたしました。

今後は、情報交換を行い、住民の皆さんに情報を提供しながら、ともに考え、国・県の動向や住民の意識の変化に即応していくことが必要と考えます。

3市1町では、今年度で研究会を終了いたしますが、これらの課題に対応するため、「阪神北部広域行政推進協議会」という組織を新たに設置し、平成15年度以降も引き続き広域行政の推進に取り組む予定です。

阪神北部広域行政研究会の経緯

年度	月	内容
平成12年度	5月	第1回研究会
	8月	第2回研究会 ●上水道で「緊急時の相互応援協定」を締結
	11月	第3回研究会 ●伊丹・宝塚・川西市青年会議所主催「まちづくりフォーラム」(川西市) ●3市1町の連絡協議会・新人会主催「阪神北部の広域行政を考えるつどい」(伊丹市)
	2月	第4回研究会
	3月	●労働団体主催「阪神北部3市1町広域行政を考えるシンポジウム」(宝塚市)
平成13年度	5月	第5回研究会
	6月	●スーパーマーケットの共同実施(伊丹市)
	7月	●スーパーマーケットの共同実施(川西市)
	8月	第6回研究会 ●3市1町共同文化事業「ロックフェスティバル」を実施(猪名川町)
	10月	●3市1町共同文化事業「中高生プラスフェスティバル」を実施(伊丹市) ●3市1町の文化財・観光マップの相互閲覧を開始 ●消防の相互応援協定締結の確立、機動交際の実施 ●台風による被害を想定した「阪神北部広域防災情報伝達訓練」を実施 ●3市立病院にて診療材料の一括購入を開始 ●3市共通に導入する児童扶養手当システムを決定 ●スーパーマーケットの共同実施(宝塚市)
	11月	研究会主催「阪神北部広域行政フォーラム」(宝塚市) ●3市1町共同文化事業「3市1町合同作品展」を実施(川西市) ●スーパーマーケットの共同実施(猪名川町)
	12月	●3市1町共同文化事業「吹奏楽フェスティバル」を実施(宝塚市) ●3市立病院にて「歯健診推進研究会」を設立
	2月	第7回研究会 ●サービスセンター間で全通線の人事交流を実施 ●宝塚地区・川西市・猪名川地区・伊丹地区4市1町共同主催「ライオンズクラブ広域行政フォーラム」 ●住民意識アンケート調査を実施(宝塚市)
	3月	●3市1町合同林野火災訓練を実施 ●労働団体主催「阪神北部3市1町広域行政を考えるシンポジウム」(川西市)
	4月	●児童・生徒を対象とした文化施設の利用化 ●文化施設等の市町内外での料金格差の撤廃
平成14年度	5月	第8回研究会 ●3市1町共同文化事業「ウォーキングラリー」を実施
	8月	第9回研究会 ●広報特集号を発行
	10月	第10回研究会 ●3市1町共同文化事業「さものかーニバル」を実施(猪名川町) ●3市1町不法投棄防止連絡協議会を発足
	11月	●3市1町共同文化事業「合同作品展」を実施(伊丹市) ●児童虐待防止講演会を実施(川西市)
	12月	●3市1町共同文化事業「吹奏楽フェスティバル」を実施(川西市) ●青年会議所主催「まちづくりフォーラム」(川西市) ●広報特集号を発行 ●住民意識アンケート調査を実施
	1月	第11回研究会 ●地震による被害を想定した「阪神北部広域防災訓練」を実施(川西市)
	2月	第12回研究会
3月	●広報特集号を発行	

魅力あふれる広域行政を

広域的連携は継続・拡充 3年間の研究成果まとまる

阪神北部広域行政研究会(伊丹市・宝 市・川西市・猪名川町の市町長による研究会)は、将来に向けた住民福祉の一層の充実と、活力と魅力にあふれる地域づくりをめざして、広域的連携課題の検討・事業化をはじめ、市町合併も視野に入れた広域行政の課題について研究してきました。

今号では、平成12年度から3年間にわたって取り組んできた消防・福祉・文化などの広域的連携事業・手法等の総括や、昨年12月に実施した住民意識調査の結果とともに、2月9日に開催された最終研究会で決定された平成15年度以降の広域行政の方針についてお知らせします。

11分野30項目の事業 で「ワーキング」の取組結果

3年間のワーキング活動を通じて、11分野55項目の広域的連携課題に取り組んだ結果、11分野30項目について平成14年度までに実施または実施を決定しました。

阪神北部3市1町における広域行政の一つの手法として、広域的連携が有効であったといえます。例えば、文化施設の相互利用を促進するため、市町内外料金格差をなくす条例改正に踏み切

るなど3市1町が一体となって取り組んだことは、今後広域行政を進める上での大きな財産になったと考えられます。

一方、9分野23項目については、実施に中長期の検討を要するため、外部環境要因や状況の変化、あるいは時期を待つて実施を検討、研究することとなりました。

各項目の取組結果を広域的連携の方法別に分類したものが図表1です。実施しやすいかについては、「公共サービスの相互提供」の項目は、

互提供、「住民活動の広域化支援」、「人材育成の共同推進」、「広域的な広報・啓発」の各項目で

「広域的連携の中長期的な課題」
実施には中長期の検討を要する9分野23項目について、その主な要因別に分類したものが図表2

図表1 広域的連携の方法と取組結果(項目数)

方法	取組結果	14年度までに実施	実施には中長期の検討を要する	既に代替機能あり	合計
公共サービスの相互提供	9	9	3	0	12
新たな公共サービスの共同設置	5	0	5	0	5
市町境をまたぐ施策の共同推進	4	4	5	0	9
市町ごとの事業の共同推進	5	5	7	0	12
住民活動の広域化を支援	3	3	0	0	3
人材育成の共同推進	4	4	2	0	6
広域的な広報・啓発	5	5	1	2	8
合計	30	30	23	2	55

図表2 実施には中長期の検討を要する要因

要因	項目数
市町間の制度の統一が前提条件	4
既存の枠組みにおける関係機関との調整に時間がかかる	4
中長期的な検討・計画が必要	9
法制度的に限界がある	1
事業自体が困難である	2
代替事業を優先すべき	1
短期的な必要性が低い	2

今号の主な記事

2・3面: 住民意識調査結果まとまる
4面: 広域的連携事業の成果